

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立第五小学校 第6学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度全国学力・学習状況調査の結果、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題があった。</li> <li>筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることに課題があった。</li> <li>人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題があった。</li> <li>ワークテストの結果、基礎的な言語の定着に課題があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手の立場での注意するポイントをその都度提示する。話すこと・聞くことでのテスト等の「思考」に関する評価を用いて検証する。(平均正答率80%)</li> <li>モデル文を用いて筋道の通った文章について指導する。文章全体の構成や展開を考え、筋道の通った文章になっているかワークテスト・ワークシート・ノートで検証する。(平均達成率80%)</li> <li>校内研究で検証している叙述より考えるという手だてを用いて授業を行う。読むことでのテスト等の「思考」に関する評価を用いて検証する。(平均正答率90%)</li> <li>国語の授業及びモジュールの時間を活用して、言語(熟語を含む)を調べたり活用したりすることを継続的に行い身に付ける。(平均正答率90%)</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークテストの結果、計算の仕方の理由や公式の成り立ちの理解に課題がある。</li> <li>ワークテストの結果から、思考力、判断力、表現力等に課題が見られる。</li> <li>ワークテストの結果から、知識及び技能について、特に図形に関する理解に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい問題を解決する場面で、自力で解決できるような具体物や図などを用意するとともに、時間を確保する。テスト等の「思考」に関する評価を用いて検証する。(平均達成率80%)</li> <li>数直線の図を使った指導を通して、児童一人一人が解決の見通しをもてるようにするとともに、習熟度に応じた指導の工夫を行う。ワークテスト等の「思考・判断・表現」の観点における正答率を用いて検証する。(平均正答率80%)</li> <li>計算技能の習熟の時間を十分に取るとともに、図形領域の学習においては個別指導を丁寧に行う。ワークテスト等の「知識・技能」の観点における正答率を用いて検証する。(平均正答率85%)</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期の授業から、どのようなことを調べたらよいのか、目的意識をもつことに課題がある。</li> <li>1学期の授業から、社会的事象の見方・考え方を働かせることに課題がある。</li> <li>1学期の授業から、学習問題に対して、自分の考えをまとめることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童に本時の授業の流れと本時めあてを明確に示す。教師は児童の振り返りに対して、本時のめあてとの整合性を必ず確認し、必要に応じて指導する。児童の学習状況を毎時間把握することで、学習改善及び指導改善のための評価を行う。(B評価80%以上)</li> <li>社会的事象の見方・考え方を広げ深める発問、資料提示の工夫を行い、児童のノート等で思考の深まりや広がりを確認するとともに、必要に応じて指導して学習改善及び指導改善のための評価を行う。(B評価80%以上)</li> <li>単元中盤で振り返りを行うことで、知識を確実に定着させる。また、学習したことの社会的な意味について考える場面では、対話を通して考えが広がったり深まったりしたことが児童が実感できるよう、対話の事前と事後では自分の考えをまとめさせる時間を十分に設定する。(B評価80%以上)</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期の授業から、自然事象からの気づきを基に、学習問題を立てることに課題がある。</li> <li>ワークテストの結果や、発問やノートの記述から、既習事項や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を立てることに課題がある。</li> <li>ワークテストの結果や、発問、ノートの記述から、学習問題に対して、自分の考えをまとめることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通点や差異点を見つけやすい自然事象に触れさせると共に、適切な声掛けを行う。授業中の発言やノートの記載内容を確認し、必要に応じて指導し学習改善及び指導改善のための評価を行う。(B評価80%以上)</li> <li>単元に入る前や事象提示の際に既習事項を確認したり、日常生活を想起したりできるようにして、自分の考えをもち予想を立てられるようにする。(B評価80%以上)</li> <li>学習問題を振り返り、実験によってどのようなことが分かり、日常生活などでもどのような場面に当てはまるのか個人、グループ、全体で考えられる場をつくる。(B評価80%以上)</li> </ul>